

日本姿勢予防医学協会について

一時的に悩みが改善しても解決せず、さらに悪化すると悩んでいる方々からの相談が絶えません。なぜ、解決しないと思いますか。

私も苦しんだ一人でした。頸椎椎間板ヘルニアに不安神経症を合併し、歩行困難で信号が識別できず、レジも電話も恐怖になりました。さらに治療も効かず、治す方法が目の前から全て消え、自分で治すしか無くなり途中死にたいと思うほど苦しました。

ここに幸せをつかんだヒントが隠れています。“すべての治療法に見放され、自分と向き合うしかなくなったりです”悩み続けてきた受講者の方々も、自分と向き合うことで人生が好転。自分で心身をコントロールされています。

もし、依存し続け根本原因を放置すると・・・筋肉は自由に動く仕組みがあり、筋肉の悪い癖は全身に広がります。

姿勢修正を正しくできる『自分治しのプロ』となり、自分で出来る安心感と信じる力を積み重ねることで自然と笑顔になります。

人間が平等に持つ力を引き出し、より豊かな人生の夢を私たちと一緒に叶えませんか。



代表理事 中田智子

各メディアでも掲載されました



たまごクラブ 5月号



モモコのOH!
ソレ!みよ!



美人百花 2月号



an'an 2月 26日号



PHPスペシャル
Best Selection



PHPスペシャル
6月号

共同研究・医学博士監修

奈良県立医科大学 MBT研究所 梅田智広 研究教授

未来は現在および過去に欠けていたものを充たす代償です。姿勢を正す、これは心身のバランス調整、健康管理など、すなわち未来において非常に重要なことです。



体調不良は何らかのサイン、是非、プラスムーブを通じ、位置感覚、運動感覚、力の感覚からなる固有感覚を通じ、脳で正しく状態を知覚、まずは自分を知ってみて下さい。

WHOオタワ憲章に「自分で健康をコントロールする事が重要」とあります。自分を知る、理に適った技術を是非ご体験下さい。